

Urban Safari

[アーバンサファリ]

Sep. 2019 Vol. 11

Cover Story

ジェイミー・ドーナ

Autumn essentials for
stylish businessmen.

アップデートに必要なもの。

Contents

- 10 Cover Story ジェイミー・ドーナ
- 13 in Your Closet
- 20 端正で美しい上質オフィスウエア
- 28 For Your Next Flight. BRANDNEW SEAT
- 36 Why don't you stay in TENT RESORT
- 37 ラグーナビーチをイメージしたスペシャルデザイン。
- 42 Gastronomic City TAIPEI
- 43 Seek Extraordinary Journeys! TRAIL RATED

Claudio Del Vecchio

クラウディオ・デル・ヴェッキオ / (ブルックス ブラザーズ) 会長兼 CEO

アメリカントラッドの老舗が“原点”を大切にしている理由とは？

米国の歴代大統領のスーツを手掛け、アメリカントラッドの様式美を体現し続けている〈ブルックス ブラザーズ〉。今年で創設201年め。イタリア出身のクラウディオ・デル・ヴェッキオは、そのCEOを務めている。イタリア育ちの彼は、どんなことにブランドのアイデンティティを見出しているのだろうか。

「〈ブルックス ブラザーズ〉は、伝統ある偉大な企業です。私たちは築き上げてきた文化を守り続けなくてはなりません。ただ、その一方で、イノベーションも忘れてはなりません。時代の移り変わりとともに顧客のニーズは変わりますからね」

しかし2001年にCEOに就任した当初は、伝統の危機に直面していたという。「当時のアメリカは、カジュアル全盛の時代。そうした時代の声に耳を傾けすぎて、ボタンダウンシャツやブレザーといった

ブランドの根幹をなす製品の大切さを忘れ、カジュアル志向の商品に注力しすぎてしまったのです。イノベーションも大切ですが、それ以前の問題として、本来持つ強みや伝統を忘れていたのです」

そんなとき、ブランドを愛する顧客から寄せられた声のおかげもあってそのことに気づいたデル・ヴェッキオは、原点に立ち返ることを決意。ブランドを象徴するアイテムは米国内で製造する体制を強化し、品質にはとことんこだわった。ブランドアイコンのゴールデン フリースを描いたブレザー用ボタンも、一度は姿を消したものを復活させ、古くからの顧客を喜ばせた。その結果、スーツに加え、カジュアルウエアの売り上げも好調に推移する好循環が生まれている。土台となる伝統を取り戻した老舗が、これからどんな革新を見せてくれるのか。楽しみで仕方がない。

発行人&編集長
Publisher & Editor in Chief
藤原 晃
Akira Fujiwara
メディア事業部 部長
Director of Media Division
成井 毅
Tsuyoshi Narui

アートディレクター
Art Director
藤澤拓也
Takuya Fujisawa (ANAGUMA)
デザイナー
Designer
渋谷裕子
Yuko Shibue (ANAGUMA)

コントリビューティング・エディター &ライター
Contributing Editors & Writers

遠藤 匠
Takumi Endo
大嶋 慧子
Keiko Oshima
古関千恵子
Chieko Koseki
柴田 充
Mitsuru Shibata
たかせ 藍沙
Aisha Takase
中村孝則
Takanori Nakamura
渡邊ひかる
Hikaru Watanabe

発行
株式会社日之出出版
〒104-8505 東京都中央区八丁堀4-6-5
編集 ☎03-5543-1230
広告 ☎03-5543-1139

●本誌掲載商品の価格表示はすべて本体のみ(税抜き)の価格です。
●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。
●本誌の編集内容に関するお問い合わせは編集部直通 ☎03-5543-1230 までお願いいたします。
なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

〈ブルックス ブラザーズ〉

1818年創業のアメリカ最古の衣料ブランド。BDシャツなど、服飾史に残る製品を多数生み出した。会長兼CEOのデル・ヴェッキオは、父が創業した伊の眼鏡メーカー、ルックスオティカの北米法人責任者として渡米。2001年から現職。

A portrait of actor Jamie Dornan. He is seated, wearing a dark blue denim shirt over a dark green crew-neck sweater and dark blue jeans. He has a full, dark beard and curly brown hair. He is looking directly at the camera with a neutral expression. His hands are clasped in his lap. A watch is visible on his left wrist. The background is a dark, solid color.

JAMIE DORNAN

【ジェイミー・ドーナ】

写真= Gareth Cattermole / Contour by Getty Images 文=渡邊ひかる
photo: Gareth Cattermole / Contour by Getty Images text: Hikaru Watanabe

PROFILE

1982年、北アイルランド生まれ。(カルバン・クライン) (ジョルジオ アルマーニ) など、有名ブランドで活躍する人気モデルを経て、俳優に転身。デビュー作の『マリー・アントワネット』をはじめ、『ワンス・アポン・ア・タイム』 『THE FALL 警視ステラ・ギブソン』 『ルイの9番目の人生』 『ジャドヴィル 包囲戦 6日間の戦い』 などに出演。『フィフティ・シェイズ』シリーズのクリスチャン・グレイ役で一躍人気者に。10月18日公開の『フード:ザ・ビギニング』にも出演している。

誰

がどう見ても、完璧なハンサムガイ。なにせ、美意識の高さに定評のある女性監督ソフィア・ Coppolaが、長編映画に出演した経験すらない彼の容貌に惚れこみ、自身の監督作『マリィ・アントワネット』における極めて重要な役、“マリィ・アントワネットの恋人”をオファーしたほどなのだから。映画界のお墨付きはもらったといってい。その幸せなデビューから9年後、映画にドラマに着実なキャリアを積み重ねていたジェイミー・ドーナンは、映画『フィフティ・シェイズ・オブ・グレイ』に主演。サディスティックな性癖を持つ美形大富豪と純真な女子大生のロマンスが展開する本作は、社会現象を巻き起こした官能小説を原作にしており、映画化決定の時点から大きな話題に。ドーナンが演じることになる大富豪クリスチャン・グレイのキャスティングにも、当然のように注目が集まった。結果、ドーナンはやはりその容姿で幾多の原作ファンを納得させ、映画は欧米を中心に大ヒット。3部作で完結する人気シリーズとなった。

となると、日本でいうところの“イケメン俳優”にカテゴライズされるだろうし、実際、外見を生かした役も何度となくこなしてきたが、それだけではない魅力がジェイミー・ドーナンにはある。『フィフティ・シェイズ・オブ・グレイ』での世界的ブレイクに前後し、3シーズンにわたって出演していた英国ドラマ『THE FALL 警視ステラ・ギブソン』では、複雑な内面を持つ連続殺人鬼を怪演。残忍でありながら、なぜか目の離せないチャーミングな犯罪者として、主人公の女性警視ステラ・ギブソンを翻弄していた。また、第二次世界大戦下を舞台にした映画『ハイドリヒを撃て！「ナチの野獣」暗殺作戦』では、“ナチス・ドイツのNo.3”といわれたラインハルト・ハイドリヒの暗殺計画に身を投じる青年に。祖国のため、平和のため、すべてをなげうつことになる人間の悲劇を繊細かつ哀愁たっぷりに体現していた。

そんなドーナンも、現在37歳。俳優業におけるチャレンジング精神は変わらず、日本公開中の映画『プライベート・ウォー』に出演。世界中の戦地に赴き、戦争の真実を発信してきた女性記者メリー・コルヴィンの半生を描いた本作は、ドーナン曰く「我々に真実を届けるために自分をなげうち、素晴らしい行動を取った女性の感動的な物語」。その中

で、ドーナンはリバプール出身の戦場カメラマン、ポール・コンロイを演じている。

「ポールは仕事をしている中で、メリーと出会う。映画では、実際よりも早い時期に会う設定になっていて、2人は多くの戦地に向かうんだ。ポールとメリーはいつも一緒にいる。メリーが命を落としたときも2人は一緒にいて、ポールも重傷を負った。2012年、シリアでのことだよ。ポールは三枚めなキャラクターで、よく冗談を言う男。仕事のできる人で、素晴らしい写真を撮るんだ。彼には恐怖心がなく、人生におけるどんなことに対しても恐れを抱かない。ポールほど恐れを知らない人に、僕は会ったことがないね。それは、彼がたくさんの死を目の当たりにしてきたからだと思う」

ドーナンの言うように、実際のメリーは取材活動で命を落としているが、ポールは存命。撮影現場に、ポール本人がやって来たこともあるという。

「とても貴重で、ありがたいことだった。最初のうちは少し気まずくて、モニターを見ないようにしてもらったりもしたけど。でも、最初の2日間くらいのことだよ。僕としては彼のアクセントを真似るのが結構大変で、本人の前で演じるのが本当にやりづらかった(笑)。ものすごいプレッシャーだったよ。でも、彼と仲良くなってからは、そ

ばにいてくれるのがすごく嬉しかった」

スリランカ、イラク、リビア、アフガニスタン、シリア。劇中に登場する戦場シーンはすべて、ヨルダンで長期ロケを敢行し、撮影されたようだ。

「ヨルダンで撮影したのはすべて戦地のシーンで、映画の40%くらいを占めていると思う。撮影は大変だったよ。楽な撮影は1日もなかった。映画では、実際のシリア難民にエキストラとして出演してもらっているんだ。彼らにとっては、つらい過去を掘り起こす経験だったと思う。暴力的なシーンがある撮影のときは、過去を思い出して泣き崩れたりもしていた。ものすごく胸が痛んだよ」

それでもなお、メリー・コルヴィンの物語、彼女と運命をともにしたポール・コンロイの物語を、大勢に向けて語らなくてはならない。ドーナンの胸の内には、そんな思いがあったようだ。

「今、この物語を伝えるのが重要なのは、世界中でいまだに、善良な市民が酷い目に遭っているから。そういった状況を伝えようとする人にもっと光を当て、情報と真実を得ることが大切だと思う。メリーとポールは自らの命を懸け、人々を助けようとした。なのに、まだなにも変わっちゃいない」

外見だけでなく、考え方も勇前。これからの活躍も、ますます楽しみになってきた。



『プライベート・ウォー』

英国サンデー・タイムズ紙の特派員メリー・コルヴィンは2001年、スリランカでの銃撃戦に巻き込まれて被弾。片目を失ってなお、戦場記者として戦地に赴き続ける。そんな中、メリーはバグダッドでフリーのカメラマン、ポール・コンロイ(ドーナン)と出会い、自身の取材に同行させるように。以来、2人で戦地の真実を目の当たりにする一方、メリーの心は徐々に触まれていく。●TOHOシネマズ ショッピングセンターほかにて全国公開中

© 2018 APW Film, LLC. ALL RIGHTS RESERVED

I think it's important this story is told.
Because awful things are still happening to people,
to innocent civilian people
in many different parts of the world.

**今、この物語を伝えるのが重要なのは、
世界中でいまだに、善良な市民が酷い目に遭っているから。**

ジェイミー・ドーナン

in Your

CLOSET*

ユーモアがわかる大人はベルトで遊ぶ。

ファッションに気を使っても、意外に見落としがちなのがベルト。ビジネスとカジュアルで使い分けるのはもちろん、遊び心があればコーディネートも決まる。そんなベルトを締めれば、気分だって引き締まるはず。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=星 隆士 文=柴田 充 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(Ca:NV) hair&make-up: Takashi Hoshi(signo)
text: Mitsuru Shibata composition: Keiko Oshima

BELT

エルメスのベルト“コード”

シンプルなバックルには6つのローラーを備え、合わせるとエルメスの文字を表示する。数字を合わせる南京錠からヒントを得た、ユーモアあふれるデザインだ。本体はリバーシブル仕様で、コレクションでは1920年代に初採用したボックスカーフと1997年に登場したヴォー・トーゴの2種類のレザーを表裏に用いる。都会的なグラフィックカラーとカジュアルなブルーの異なるテイストで、シーンに合わせてエレガントに使い回せる。

ベルト11万2000円、スーツ 参考商品、ニット 参考商品、ハット7万3000円(以上エルメス/エルメスジャパン)



in Your

CLOSET*

ゴルフウエアはシックなほうが目立つかも。

42年ぶりのメジャー優勝で活気づくゴルフは、女子の関心も高く、グリーンもひととき華やぐ。負けずには男はシックなスタイルで楽しみたい。シックなワントーンに着こなしで、紳士のスポーツであることを主張しよう。

SUNGLASSES

アイヴァンの“UPTOWN”



OUTER

ボスの“ストレッチアウター”



SHOES

トッズの“ニュー ゴンミーニ”



CAR

ジープの
“Grand Cherokee”



D
〈トッズ〉のブランドアイコンであるドライビングシューズ“ゴンミーニ”が大胆に生まれ変わった。ソールからヒールにかけてのラバー・ペブルはそのままに、履き口にネオプレンを備え、スニーカーのような履き心地が味わえる。カーフレザーにムラ染めしたイングリッシュグリーンはこれからの季節に最適。

シューズ6万9000円(トッズ/トッズ・ジャパン)、
パンツはAと同じ、クルマはBと同じ

C
ファッションやカルチャーを発信する〈アイヴァン〉の新作は、写真家デニス・モリスとのコラボレーション。伝説的なミュージシャンのアルバムカバーを手掛け、作品は名だたる美術館で展示されている。本人が愛用したビッグシェイプに着想を得て、 temple 芯にはネガフィルムのディテールを盛りこむ。

サングラス3万5000円(アイヴァン/アイヴァンPR)、ジャケットはAと同じ

B
力強くマッシブなオフロードに心惹かれる。走破性をさらに高めた〈ジープ〉グランドチェロキーの限定仕様車は、ボンネットのマットブラックデカールや、ブラックグリルの赤い牽引フックがアクセント。ゴルフバッグが縦に入る仕様もスマート。こんなクルマならプレイへの高揚感もよりかき立てられる。

全長×全幅×全高：4835×1935×1805mm エンジン：3.6ℓV型6気筒DOHC 最高出力：213ps/6400rpm 最大トルク：347N・m/4000rpm 駆動方式：常時四輪駆動 税込み価格630万円(ジープ/ジープフリーコール)

A
スタイリッシュであることはもちろんだが、ゴルフウエアにスポーティな機能性は欠かせない。前身頃の防寒性やカラダの動きを妨げないストレッチ性に加え、大胆なカラーブロックのデザインはグリーンでも映える。プレイを終えたクラブハウスでも際立つだろう。フロントジップにはブランドロゴ入り。

ジャケット4万2000円、パンツ2万5000円、ゴルフ道具一式参考商品(以上ボス/ヒューゴボスジャパン)、サングラスはCと同じ、クルマはBと同じ

Boss / ボス Jeep / ジープ Eyevan / アイヴァン Tod's / トッズ

in Your

CLOSET*

お洒落なビジネスマンはコードバンにたどりつく。

お洒落が楽しくなる、これからの季節。足元もドレッシーに履き替えたい。おすすめするのがコードバン。深い光沢や稀少性から革のダイヤモンドと讃えられる。さらに美しいカラーがエレガントに彩る。

SHOES

イセタンメンズの
“コードバン シューズ”

〈イセタンメンズ〉では、レアなコードバンシューズを取り揃えた。〈クロケット&ジョーンズ〉(写真右)は、アッパーを1枚革で仕上げた贅沢な作り。高い技術とともに、ネイビーブルーの色合いに美しいフォルムが際立つ。〈チャーチ〉は風格漂うフルブローグ。内羽根式のエレガントなスタイルに、ブラックとバーガンディのコンビネーションカラーを施す。いずれもレギュラーモデルとは異なる限定仕様で、愛着もさらに深まるに違いない。

シューズ左：12万1000円(チャーチ / 伊勢丹新宿店)、
右：14万円(クロケット&ジョーンズ / 伊勢丹新宿店)、
ハット4万9000円(カンピアギ / 伊勢丹新宿店)



in Your

CLOSET*

早朝サイクリングだってお洒落にこだわりたい。

清々しい空気を一杯に吸いこめば、1日の活力が湧いてくる。そんな早朝の散策に自転車は最適だ。まだ人もまばらな街の風景は、普段とは少し違って見える。足を延ばせば、それだけ新たな発見が待っている。



BIKE

フローチャーズの
"DOSNOVENTA"



DOWN VEST

モンクレールの
"BANKER"



SNEAKERS

セルジオ ロッシの
"sr1 Addict sneakers"



CAP

ダンヒルの
"レザーキャップ"

D

人気の白スニーカーはスタイルもさらに多様化している。シンプルなローファータータイプに、半硬質なヴァンプとアイコン的なメタルプレートアクセントとする。ミニマルなデザインに際立つソールの厚みもストリートテイストを演出。そのモダンなフォルムは、大人のラグジュアリースニーカーにふさわしい。

シューズ7万7000円(セルジオ ロッシ/セルジオ ロッシ カスタマーサービス)、パンツはAと同じ、自転車はCと同じ

C

スペイン・バルセロナのフレームメーカー(ドスノヴェンタ)は、洗練されたデザインとイタリアの職人のハンドメイドのピストフレームで知られる。伝統的なスチール素材を使用したシンプルなシングルギヤはそのままに、フラットハンドルやフロントキャリアを装備。お洒落感覚と街乗りの利便性を併せ持つ。

自転車38万円(フローチャーズ原宿)

B

いつまでも失わない少年心のシンボルであるキャップに、上質なカーフレザーを採用。大人の風格を醸し出す。美しいレザーのカッティングパターンに、リアアジャスターにはメタルパーツを採用し男らしさを演出。カジュアルスタイルを上品に格上げするとともに、使いこんだ風合いも楽しみになる。

帽子7万8000円(ダンヒル)、ダウンベストとパーカはAと同じ

A

スポーティなダウンベストは、腕の動きを妨げることなく、風を受ける前身を温かく守る。ブランドのアイコン的な素材であり、軽く光沢感が特徴のナイロンラケを採用。上質なダウンを贅沢に使い、キルティング幅を大きく取ったデザインにはモード感が漂う。メタルジップも都会的な印象を醸し出す。

ダウンベスト10万円、Tシャツ3万8000円、パンツ9万5000円(以上モンクレール/モンクレールジャパン)、パーカ12万4000円(2モンクレール1952/モンクレールジャパン)、その他はスタイリスト私物、帽子はBと同じ、自転車はCと同じ

女性と男性では、モノ選びの基準が違うとよくいわれる。まあ例外もあるけど、あくまでも一般的という話。たとえば洋服を選ぶとき。女性はまず、見た目に美しいものやかわいいものに惹かれるもの。もちろん男性もそうなのだが、さらにそこに、確かな品質や価値、モノ作りの背景まで気にするのが男性。まがいものなど手にしたら最後。どんなにそれが見た目に美しくても、受けつけない。

世界三大時計ブランドの一角を占める〈オーデマ ピゲ〉は、そんなこだわりを持った大人の男性にこよなく愛されているスイスの高級時計ブランド。創業は1875年と古く、世界最高峰の技術力で時計作りに様々な革新を起こしてきた。重力による精度上の誤差をゼロに近づけるトゥールビヨンや時を音で知らせるミニッツリピーター、そして永久カレンダーなどの複雑機構は〈オーデマ ピゲ〉の得意分野。そんな高い技術力は、代表作「ロイヤル オーク」や今年発表された「CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ」にも受け継がれ、デザイン性の高さとともに高いプロダクト価値を生み出している。

では、その価値を生み出しているものとはなんなのか？ 実はそれを紐解くカギが、今回のブランドエキシビション「時計以上の何か」にある。見どころは、なんといっても時計の文字盤をイメージしたリング状の展示スペース。中は12の部屋に区切られていて、〈オーデマ ピゲ〉が培ってきた時計技術やその背景にあるものを惜しげもなく披露。また、150点以上に及ぶ貴重なミュージアムピースも展示される予定となっており、これを見るだけでも、このブランドが積み重ねてきた価値を実感することができるだろう。さらに会場では、スイスより来日するウォッチメーカーによる様々なデモンストレーションが見られるほか、池田亮司氏によるデジタルアートも体験できるなど盛りだくさんの内容が用意されている。〈オーデマ ピゲ〉のオーナーはもちろん、未来のオーナーや時計好きは、この機会に揺るぎない価値の源に触れてみることを是非おすすめしたい。



『時計以上の何か』

開催場所：東京ミッドタウン芝生広場 会期：10月19日(土)～11月4日(月・振休) 時間：11:00～19:30(最終入場19:00) 予約はQRコードから



Room I

起原 — ジュウ渓谷 —

オーデマ ピゲ発祥の地と自然

最初の部屋は〈オーデマ ピゲ〉の生誕の地を紹介する空間。ジュウ渓谷とは、スイス・ジュネーブの北方、ジュラ山脈に位置するエリア。

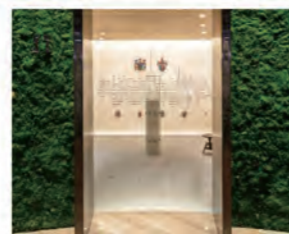


Room II

起原 — 創業者一族 —

オーデマ ピゲを作った人々

創業以来どのグループにも属さず、創業者一族の手を離れたことがない家族経営の様子がわかる。資料とともに、一部のタイムピースを紹介する。



Room III/IV

複雑時計

創業以来、世界初となる機構や技術を多く開発してきた〈オーデマ ピゲ〉。その技術力の高さを複雑時計の機構として紹介するのが第3と第4の部屋。

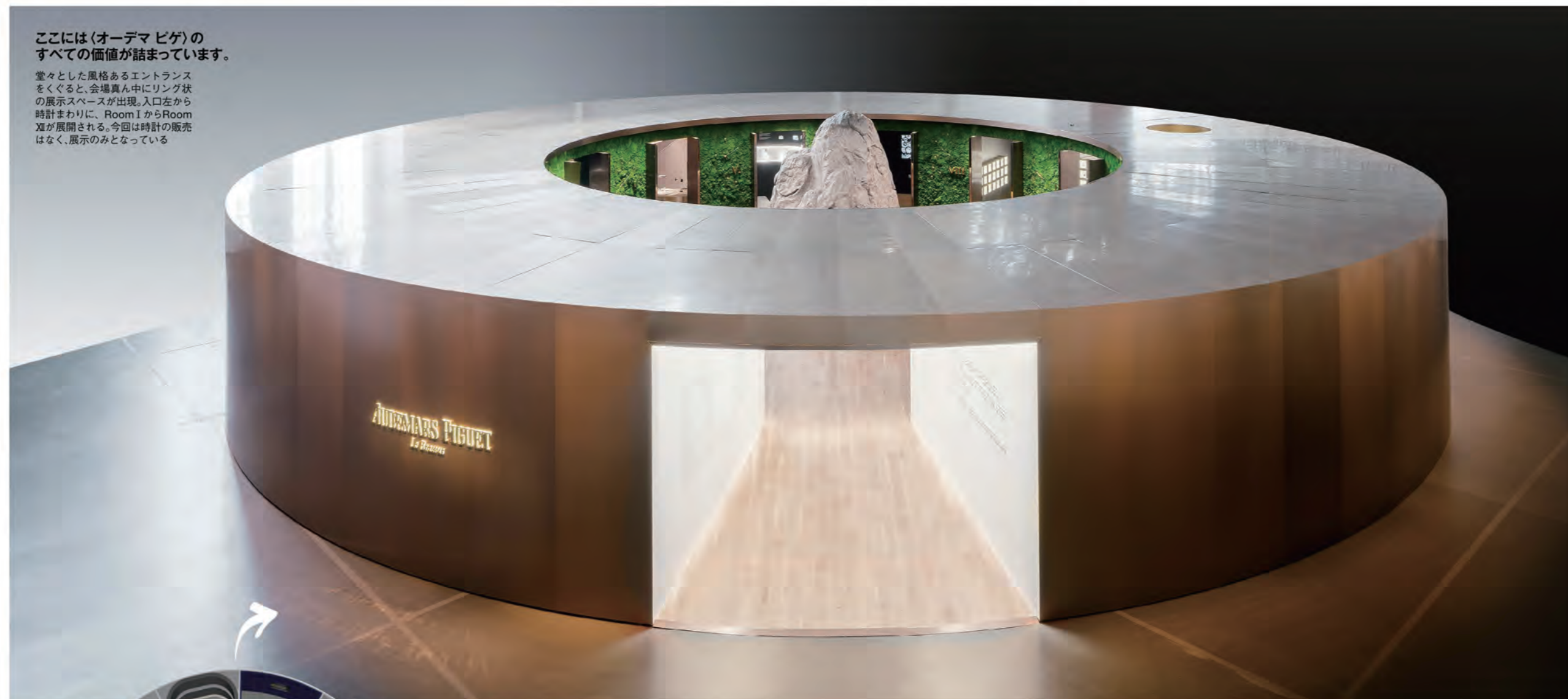


Room V

職人の技



来場者が時計作りの非常に細かい技術を間近で見られるスペース。来日した時計師の仕事を前に、普段は見られない部品も確認できる。



ここには〈オーデマ ピゲ〉のすべての価値が詰まっています。

堂々とした風格あるエントランスをくぐると、会場真ん中にリング状の展示スペースが出現。入口左から時計まわりに、Room I からRoom XII が展開される。今回は時計の販売はなく、展示のみとなっている。



Room VI

時をデザインする — コンテンポラリーなデザインと歴史 —

各時代を通して、〈オーデマ ピゲ〉が挑戦してきたデザインの変遷をご紹介します。ブランドの美意識の高さを再認識できる。

Room IX

ダイヤルの製造 — 「タペストリー」ギョシェダイヤル —

「ロイヤル オーク」の重要なポイントであるタペストリー。ここでは、その文字盤を作るのに欠かせない複雑なギョシェ彫りが実際に見られる。時計師による貴重な職人技にも注目したい。

Room VII

ラボ — ウォッチメーカーによるデモンストレーション —

スイスのル・ブラッシュにある本社から招いた専門家による、脈々と続く開発とイノベーションをテーマにした対話型スペースも用意。



Room X

CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ

今年発表された、実に26年ぶりの発表となった新作に関する部屋。コンテンポラリークラシックという新たなカテゴリーを開くモデルが鑑賞できる。

Room VIII

ロイヤル オーク

時計師ジェラルド・ジュンタが〈オーデマ ピゲ〉のためにデザインした「ロイヤル オーク」。1972年から展開された代表的なモデルが見られる。



Room XI/XII

data.anatomy [for Audemars Piguet]

職人技の複雑性や正確性と、アートとの融合もキーワード。今年からサポートする、電子音楽作曲家でビジュアルアーティスト池田亮司氏の作品が鑑賞できる。

なぜ世界中の時計好きが一目置くのか？

『時計以上の何か』に行けばわかる、〈オーデマ ピゲ〉の本当の価値。

ご存知のとおり〈オーデマ ピゲ〉は高級時計の代名詞。世界中のVIPが愛用し、時計好きにとっては永遠の憧れでもある。とはいえ、そんな〈オーデマ ピゲ〉の存在は知っていても、その「本当の価値」を知っている人は案外少ないのではないだろうか。そんな中、10月19日から11月4日の間、六本木は東京ミッドタウンにて〈オーデマ ピゲ〉のブランドエキシビション「時計以上の何か」が開催される。多くの人を魅了し続ける価値とはなにか？ 是非足を運んで「時計以上の何か」を体験してはどうだろう？

実際に見て確かめたい！

ミュージアムピースには卓越した技とアイデアがある。



1917年

八角形のレディスウォッチ

ダイヤモンドがセットされたプレスレットウォッチ。〈オーデマ ピゲ〉が制作した最初の八角形の時計がコチラ



1923年

ミニッツリピーターウォッチ「キュービストのクッション」

ケースの直径21.4mm。この中に厚さ2.7mmで、最も小型で薄いミニッツリピーター機構のひとつを搭載している



1942年

クロノグラフウォッチ

初期の100年間、〈オーデマ ピゲ〉は300個以上のクロノグラフウォッチを製造した。コチラは2カウンターのタイプ



1962年

円形のアシンメトリーウォッチ

文字盤の中に、2方向に広がる非対称な円を組み合わせたという大胆なデザイン。ケースの形状もユニークな仕様に

今だからこそ似合う モダンなダブルスーツ。

日本人はダブルのスーツに苦手意識を持っている人が多い。しかし、シングルでは望めないあの貫禄は、間違いなく年を重ねた大人を引き立ててくれるはず。そこで、おすすめしたいのがこの1着。ナポリのスーツをイメージした職人技が息づく仕立てが特徴で、迫力あるワイドラベルには貫禄あり。同時に、高い位置のゴージラインや短めの着丈が極めて現代的だ。この1着なら、格の違いを印象づけながらも、時代が読めている男を演出できるだろう。

ストライプ柄のイメージが強いダブルスーツに、あえてのウィンドウペーン柄というのが、洒落て見えるポイントに。ジャケットと同じくパンツも、裾幅17cmの細身シルエット。スーツ52万円、シャツ7万6000円、ネクタイ2万6000円、シューズ8万7000円、クラッチバッグ15万円、チーフ参考商品(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

“仕事ができる”がひと目で伝わる

端正で美しい 上質オフィスウェア。

仕事ができる男というのは、ふとした仕草や佇まいも含めて、どこか人とは違うように感じるもの。もちろん服装も然り。端正なシルエットや上質な生地の風合いから内面的な余裕が窺えるというものだ。目指すべきはそんなビジネスマン。仕事のスキルアップには時間を要するかもしれないが、服装だったらこの秋アップデートするだけでいい。

写真=野口貴司 スタイルング=中川原 寛 ヘア&メイク=星 隆士 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN)
hair&make-up: Takashi Hoshi
text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

GIORGIO ARMANI

リッチな遊びをきっかけに 会話が弾むこともある!?

出張先では初対面の人に出会うことが多い。だからこそ、ジャケット姿も印象に残るものにしたい。この1着は遠目には無地に見えるが、実は〈ルイ・ヴィトン〉の“モノグラム”がエンボスで描かれている。しかも、エレガントなピークドラベルもサテン仕立て。近距離でしか認識できないこうした遊びが、個性として相手の記憶に残るはずだ。さらに、そこに気づいた人となら会話が弾むことだってある。自己演出上手なジャケットは、なにかといいことづくめのものだ。

裾まわりのヘムラインを外側に向かってカーブさせた軽快な印象のデザイン。ゴールドで縁取った袖口の黒ボタンも、リッチな印象をさりげに振りまくディテール。ジャケット44万4000円、シャツ6万円、パンツ12万1000円、腕時計59万8000円～（ストラップにより異なる）、ベルト6万円、キャリーケース40万6000円（以上ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトンクライアントサービス）

A man with dark, wavy hair and a light beard is shown from the waist up, wearing a dark grey Louis Vuitton suit jacket over a white dress shirt and a black belt. He is holding a black smartphone to his ear with his left hand. To his right, a portion of a Louis Vuitton suitcase with the iconic Damier pattern is visible. The background is a plain, light-colored wall.

LOUIS VUITTON

DUNHILL

モダンな英国スタイルこそ
“仕事ができる”を体現できる。

背筋を伸ばして仕事と向き合うときは、やっぱり英国ブランドのジャケットがしっくりくる。セットアップスーツとして着用することを前提に作られたこの新作は、まさにお誂え向きだろう。カラダをシャープに見せる体形補正効果は健在ながら、英国スタイルとしては肩山が低め。ラベルも細く、若々しいネイビーのチェック柄と相まって、印象はすこぶる軽快に映る。そんなスーツはダークなシャツと合わせるといっそうモダンに。ドレスコードが許せば挑戦したい。

スタイルは、この秋から登場したセットアップの“メイフェア・フィット”を採用したもの。ジャケット自体はやや細身で、着丈も短めに設定。ジャケット27万円、シャツ3万7000円、パンツ7万4000円、ネクタイ3万1000円、ポケットチーフ1万5000円、手前のバッグ23万1000円(以上ダンヒル)、その他はスタイリスト私物

ERMENEGILDO ZEGNA

**着心地がワンランク上なら
余裕を感じる着こなしに。**

多忙を極めるときほど必要になるのが心の余裕。きちんと感を重視しがちなジャケットの装いも、どこかゆとりを感じさせることが大切だ。このジャケットは、柔軟で軽快なカシミアを使用し、独自のツヤ感と快適な着心地を備えるもの。つまり、素材自体に余裕がある。また、スタンダードなスタイルなので、シーンを選ばずに安心して着用できるのも美点。タイドアップはもとより、ノータイでもサマになるグレンチェック柄のおかげで、コーディネートにも悩まずに済む。

イタリアンブランドらしいカラダにほどよく沿うシルエット。クラシカルなチェックパターンを生かしながらも、カシミア仕立てのボディは柔らかく、楽な着心地が味わえる。ジャケット41万9000円、シャツ6万8000円、パンツ6万9000円、シューズ8万9000円、ベルト3万5000円、チーフ1万3000円、ブリーフケース24万円、手に持ったコート53万6000円(以上エルメネジルドゼニア/ゼニア カスタマーサービス)

GIORGIO ARMANI

〈ジョルジオ アルマーニ〉のMTOなら レザージャケットも 至福の着心地が味わえる。

心弾む休日は、とびきり着心地のよいしなやかなレザージャケットを羽織って出かけたい。そんなとき、ジャケットが美しくカラダにフィットしているか否かは、見た目はもちろんリラックスするうえでも重要な要素。その点、〈ジョルジオ アルマーニ〉のオーダーメイドなら安心。最高峰の仕立てにより、一目置かれるレザージャケット姿が手に入る。

写真=野口貴司、池田佳史 スタyling=中川原 寛
ヘア & メイク=松本 恵 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi, Yoshifumi Ikeda (BOIL) styling: Kan Nakagawara (CaNN)
hair&make-up: Megumi Matsumoto (es*QUISSE) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

Made to Order Leather Jacket

[メイドトゥオーダー レザージャケット]

44～66の豊富なサイズに加え、レギュラー、ショート、ロング丈から選べるMTOは、本国イタリアで縫製。約5週間で仕立てられる。オーダー可能なレザージャケットは全3型で、これはその中のテイラードタイプ。10種類の素材に加え、17種類のボタンや裏地から自分好みの仕様を選べる。レザージャケット61万円～、ニット14万3000円、パンツ13万5000円、スカーフ2万9000円(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

variation



ムートンもオーダーで!

ボアをあしらったムートンブルゾンもオーダーが可能になった。81万円～ (ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

Information

今回紹介したレザージャケットやムートンブルゾンにもトライできるオーダースーツのフェアが、9/7～9/30の期間限定で全国にある〈ジョルジオ アルマーニ〉の店舗で開催される。開催店舗は、アルマーニ / 銀座タワー、六本木ヒルズ店、池袋西武店、伊勢丹新宿店メンズなど、合計17店舗。また、期間中にはじめてスーツまたはジャケットとパンツをメイドトゥオーダーで注文すると、もれなくオーダーメイドシャツ1枚をプレゼント。利用する際は、公式サイトで店舗を確認し、事前予約してから来店すると、スムーズなオーダーメイド体験が楽しめる。

若

い頃にレザージャケットを着たときは、多少のオーバーサイズ感やピタピタ感は許容範囲だった。ところが、袖を通す場合は事情が違う。スーツと同じように仕立ての上質さを追い求めたいのは当然のこと。さらにカラダに美しくフィットする1着を得て、年相応のかっこよさを印象づけたい。そこで頼りになるのが、〈ジョルジオ アルマーニ〉。40カ所以上の細やかな

採寸を行うMTM(メイドトゥオーダー)に加え、オーダー慣れしていない人でもわかりやすいシステムを導入したMTO(メイドトゥオーダー)も用意。敷居の高さを感じる必要はない。しかもその仕立ては、スーツ作りの最高峰に位置づけられているので、品質の高さは折り紙付き。自分仕様の1着と若かりし頃に着た1着の違いを実感するには、まさに最高の選択肢といえるだろう。

GUCCI

〈グッチ〉の高い美意識に触れると
いつものリビングルームが
居心地のいい贅沢空間になる。

服と同じように、いや服以上にその人の嗜好性やこだわりが表れるのが居住空間。たとえば、気の利いたブランケットがひとつあるだけでも、個性や上質なライフスタイルを楽しめるというもの。贅沢素材にお馴染みのモチーフをあしらった“グッチ デコール コレクション”なら、取り入れた瞬間からそこがワンランク上の空間になる。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi, styling: Kan Nakagawara(CaNN) text: Takumi Endo, composition: Keiko Oshima

Gucci decor collection

[グッチ デコール コレクション]

クッションは、〈グッチ〉のアイコン的なモチーフであるビー（蜂）やスターをジャカード織りで描いた、遊び心あふれるデザインが魅力。ブランケットは、モチーフ使いの面白さに加え、カシミアとシルクをブレンドしたウールのしなやかなタッチも出色。蓋のデザインも特徴的なマグカップは、リチャード・ジノリ社製。クッション12万8000円、ブランケット13万5000円、サングラス5万4000円、マグカップ3万9000円(以上グッチ/グッチ ジャパン クライアントサービス)

女

性と比べると、男性はまだまだインテリアに興味薄い人が多いのかもしれない。しかし視点を変えて、居住空間に自分の好みや遊び心を少しだけ取り入れてみると、それが想像以上の快適性をもたらす、なにより楽しいことに気づくはずだ。たとえば、腕時計やメガネのような小物を上質なものに変わると、それだけで着こなしのイメージがガラリと変わることがある。それと同じような感覚をリビングルームの演出で体験できるのが、〈グッチ〉のインテリアコレクション。たとえば、ブランドを象徴する“GGパターン”を描いたクッションをソファに置くかどうか。柔らかなクッションがソファでくつろぐ際の快適さを底上げしてくれるのはいわずもがな。タッセルのようなフリンジで装飾した仕立ても相まって、贅沢を感じさせる空間を演出できるはずだ。ブランケットやマグカップなども揃えれば、演出はより完璧になるだろう。

流

行に左右されない服は確かに存在する。それは信頼できる普遍的価値を持った服。ただ、実際にそれらを着用する場合は、どこかアップデートされたものを選ぶとか、年相応の演出も必要。そして“紺ブレ”は、まさにそんなお洒落が楽しめる好例ではないだろうか。

では、年を重ねた大人が今着たいと思う紺ブレとはどんなものだろう。たとえば〈ブルックス ブラザーズ〉が手掛けたカシミア仕立ての1着がまさにそれ。しなやかな着心地に加え、ボタンまわりのシワさえも美しく見えてしまう独特の張りやドレープには、'90年代の紺ブレブームに着ていたものとは別次元の優雅さがある。さらにシルエットは、ゴージラインを高く設定し、ウエストに絞りをきかせることで現代的なフィッティングに更新済み。そしてなによりも、紺ブレの生みの親といっても過言ではない同社が作っているという点も、本物感がある。気になる仕立ては1929年に創業し、アメリカンアイビーの隆盛を後押しした名門ファクトリーのサウスウィック社が担当。品質の面も言うことがない。



単なる金ボタンではなく、ブランドを象徴するゴールデンフリース。七宝焼き仕様でクラス感が際立つ

BROOKS BROTHERS

トラッドウエアをモダンに魅せる〈ブルックス ブラザーズ〉。
定番ブレザーがカシミアなら
ジャケパン姿に箔がつく。

日本では、'90年代に“キレカジ”を象徴するアイテムとして一世を風靡した紺ブレ。年を重ねた今着るのであれば、あの頃と同じというわけにはいかない。ここはひとつ、服地はラグジュアリーで仕立ては正統派という〈ブルックス ブラザーズ〉の高級品に袖を通してみてはどうだろう。この1着で大人のジャケパン姿が見違える。

写真＝野口貴司、正重智生 スタイルング＝中川原 寛 ヘア＆メイク＝松本 恵 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi, Tomoo Syoju(BOLL) styling: Kan Nakagawara(CaNN)
hair&make-up: Megumi Matsumoto(es*QUISSE) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

モデル着用

color variation



Cashmere Blazer

[カシミアブレザー]

3つボタンの段返りという、アメリカントラッドの様式美は健在。フラップ付きパッチポケットで、フォーマル色を和らげたスタイルに落としこんだ。ゴールデンフリースを描いた七宝焼きのボタンも、このブランドらしい高級感あふれるディテール。ネイビーに加え、より都会的な印象に寄せたブラックも選択可能だ。各16万円(以上ブルックス ブラザーズ/ブルックス ブラザーズ ジャパン)

こんな時計をつけたら、ドライブ中
は袖を捲ってアクティブに。この時計は
気取らない雰囲気似合う。腕時計63万円
(タグ・ホイヤー/ LVMH ウォッチ・ジュエリー
ジャパン タグ・ホイヤー)、コーディネート
6万2000円(ダンヒル)、その他はスタイリスト
私物



TAG HEUER

生誕50周年を迎えた〈タグ・ホイヤー〉の“モナコ”。
レーシーな角型時計をつけると
ドライブ好きの心が躍る。

1969年に誕生した“モナコ”は機能的で大胆。そのアバンギャルドなデザインと世界観は、今も揺らいでいない。そして、この時計をさらに魅力的にするのが名優スティーブ・マックイーン存在。彼が映画で使用したことで、この傑作時計は伝説のアイコンとなった。休日のドライブシーンでつけると、ヒーローになった気分になれる。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=星 隆士 文=篠田哲生 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up: Takashi Hoshi(Signo)
test: Tetsuo Shinoda composition: Keiko Oshima

休日には、自分が心から気に入っているものだけを身につけたい。たとえばレースの世界観を背景に持つ〈タグ・ホイヤー〉の“モナコ”は、クルマ好きにとっては特別な存在。愛車でドライブを楽しむ休日には、これほどふさわしい相棒はない。“モナコ”は、世界初の自動巻き式クロノグラフ“クロノマティック”を搭載した最新鋭の時計として1969年に誕生。エレガントな角形ケースにして、見るからにスポーティ。しかもリュウズを9時側に

セットしたスタイルが個性的だ。そして、この時計に惚れこんだのが名優スティーブ・マックイーン。彼は映画『栄光のル・マン』で“モナコ”に出会い、プライベートでも愛用した。レーシングスーツやレザージャケットの袖口から見える“モナコ”は、彼のパッドボーイ的キャラクターと相まって、アイコンウォッチとなり、たちまち男たちの憧れの的。ちょうど今年は、モナコ誕生50周年という節目。この傑作を手に入れるのに、またとない機会といえそうだ。



モデル着用

Heuer Monaco Calibre 11 Chronograph

【ホイヤー モナコ キャリバー11 クロノグラフ】

オリジナルと同じ、“逆リュウズ”のスタイルを再現するために開発した“キャリバー11”を搭載。ダイヤルのカラーリングやインデックスも当時のスタイルを継承。マックイーンと同じスタイルが楽しめる。ケースサイズ39×39mm、自動巻き、SSケース、カーフストラップ、100m防水。63万円(タグ・ホイヤー/ LVMH ウォッチ・ジュエリージャパン タグ・ホイヤー)

リュウズが3時側の“タグ・ホイヤー モナコ キャリバー12 クロノグラフ”。57万5000円(タグ・ホイヤー/ LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー)

For Your Next Flight.

BRANDNEW SEAT*

次の旅は最新シートで快適なフライトを。

常に進化を続けている航空機。低燃費化が進んで飛行時間が長くなり、客室キャビンの居住性も飛躍的に向上している。日本に就航したて、これから就航するビジネス、ファーストクラスの最新シートをご紹介します。

文=たかせ藍沙 text:Aisha Takase



ANA

【全日本空輸】

ビジネス、ファーストクラスともにアップグレード。

進行方向と逆向きのシートを互い違いに配したことで実現した、世界最大級の居住空間をもつビジネスクラス、「THE Room」。配列は1-2-1で、全席が通路にアクセス可能。木目調を多用したインテリアのファーストクラス、「THE Suite」には、4K対応の43インチの特大モニターが搭載された。両クラスともに、シートには寝具メーカーの〈西川〉と共同で開発した特殊立体構造ウレタンが内蔵され、効率的に体重を分散することで良好な寝姿勢を維持してくれる。

今

年最も注目したいのはANA。B777-300ER型機の長距離国際線キャビン全クラスのデザインを、約10年ぶりにリニューアルしたのだ。客室デザインは、東京オリンピックのスタジアムも手掛けた建築家の隈研吾が総合監修し、イギリスのアキュメン社が手掛けた。

ファーストクラスの「THE Suite」と、ビジネスクラスの「THE Room」には引き戸が備えられ、閉めると個室になる。新シートの最大の特徴は、「THE Room」のシートの向き。進行方向と逆向きのシートを交互に配置することにより、世界最大級のシート幅を実現したのだ。そして、読書や食事などの各シーンに合わせた照明など、随所に最新の技術が使われている。8月の羽田ーロンドン便を皮切りに、ニューヨーク便、フランクフルト便に順次導入される。

スイス インターナショナル エアラインズは、新型シートは2019年3月から順次導入されている。ファーストクラスとしては珍しかった開放感のあるタイプのシートからリニューアル。ドアこそないものの、大型の間仕切りがついたのでプライベート感がアップした。同様に、ビジネスクラスにも隣席との間仕切りが設けられている。

ターキッシュ エアラインズの新しいビジネスクラスは、2クラスで運航する航空会社ならではのクオリティの高さ。機内照明は、トルコ中央部カッパドキア地方の色あざやかな夕焼けと、のどかで美しいターコイズブルーの海辺からインスピレーションを得たという。

カタル航空のビジネスクラス「Qsuite」のユニークな特徴は、中央の2席をダブルベッドに、4席を使うとボックスシートにできるということ。通路側のドアを閉めれば、ビジネスミーティングも、家族の団らんも、誰にも邪魔されることはない。



ANA

プレミアムクラスは、従来のブルー系のシートからシックで落ち着いた茶系にカラーを変更。15インチのパーソナルモニター、隣席との間仕切りなど、快適性がアップする。



JAL

ファーストクラスの新しいシートは、従来のベージュ系から黒を基調とした配色になり、デザインも一新された。隣席の間には大型の間仕切りがついてプライバシーが向上した。

COLUMN

2019年、日系2社が揃って国内線シートを刷新!

JALは9月から、羽田ー福岡便に新シートを搭載した最新鋭のA350-900型機を導入。ファーストクラスは、黒を基調とした重厚感のあるデザインとなった。ANAは11月から、羽田ー福岡便などで新型シートを搭載したB777-200型機を導入する。新しくなったシートには、全クラスに個人モニターが備えられた。2社とも順次新シート導入路線を増やしていく予定になっている。



SWISS INTERNATIONAL AIRLINES

[スイス インターナショナル エアラインズ]

チューリッヒの旅がますます快適に。

新しいシートは、心安らぐ木目調を多用したナチュラルな雰囲気のインテリアが特徴。プライバシーが向上し、居住性が格段にアップした。2020年2月から成田-チューリッヒ便が大型のB777-300ER型機に変更され、同年3月からは関空-チューリッヒ便に新シートのA340-300型機が導入される。

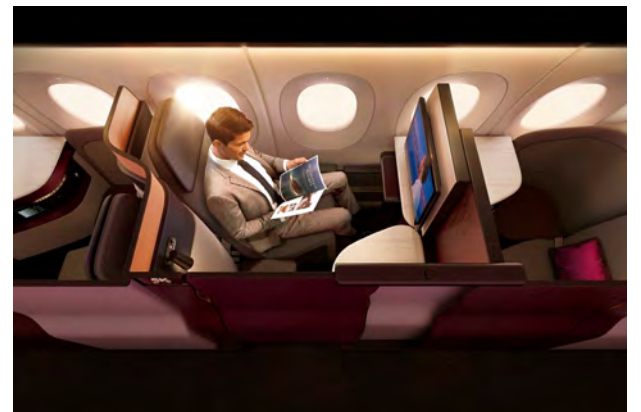


QATAR AIRWAYS

[カタール航空]

業界唯一！ 空の上でまさかのミーティング開始!?

2018年11月から日本に就航したビジネスクラス「Qsuite」は、進行方向と逆向きのシートが交互に配置されていることを最大限に生かし、4席をボックスシートとして使うことができる。ビジネスクラスで、2席をダブルベッドにできるのも業界唯一だ。



TURKISH AIRLINES

[ターキッシュ エアラインズ]

カラダを包みこむシェルタイプのシート。

ビジネスクラスの新シートは18インチのモニターを備えたシェルタイプ。B787-9型機のシートをリニューアルし、ビジネスクラスを1-2-1の配置とした。2020年4月から関空-イスタンブール便と、成田-イスタンブール便の一部で導入が予定されている。

イメージをいい意味で裏切る
モダンなアウトドアミックス。

ダウンベスト姿がとびきり都会的に見える理由は、ひと味違うその仕立てにある。袋状の生地に羽毛をダイレクトに封入するチューブラーテック製法を採用しているの、すっきりした見え方に。クリース入りのパンツとも相相愛の関係だ。

スウェットシャツ2万1000円、中に着たTシャツ1万4000円、パンツ2万3000円(以上CK カルバン・クライン/オンワード樫山 お客様相談室)、腕時計2万5000円(カルバン・クライン ウォッチ&ジュエリー/スウォッチ グループ ジャパン)、バックパック3万2000円(イクテイ)



モデル着用はこれ!

color variation

Down jacket

【ダウンジャケット】

リバーシブル仕様になっており、デジタルカモフラージュ柄のジャカード生地の面を表にして着ることも可能。ステッチレスで、ダウンが噴き出しにくい。各5万3000円(以上CK カルバン・クライン/オンワード樫山 お客様相談室)

どんな服を着ても、不思議とリラックスして見えるディーン・フジオカさん。着こなしについてのこだわりを聞くと、意外な答えが返ってきた。「もしかしら洋服は、表現者としての“準備”を整えるためにも大切なかもしれませんが。演技にしても曲作りにしても、心に響くものを表現したい。だからこそ、そのための準備にもこだわります。セリフを覚えることも重要ですが、最高のパフォーマンスのために普段はカラダも休めたい。だからこそ自然と快適な素材を選ぶことが多いですね。移動中は仮眠をとることが多いです。ただ、その一方で、人に見られる仕事でもあるし、人に対して失礼に当たらないようにも思っています」。(CK カルバン・クライン)の服は、そうした理想を満たしてくれる存在のようだ。「フォーマルな空気を保ちながらリラックスできる服ですね。自分はもちろん、相手も気持ちがいい。ベストは仕立てがよく動きやすいし、セットアップはストレッチが効いているのに、きちんと感がある。そのバランスがまた、心地いいですね」オンオフどちらの装いも気に入ったようだ。

Off time

PROFILE

ディーン・フジオカさん

1980年生まれ。香港でモデルとして活動をはじめ、2005年に俳優デビュー。その後、台湾を拠点に活動。日本ではNHK連続テレビ小説「あさが来た」などで人気を博し、ドラマや映画に多数出演。9月には、三谷幸喜作品「記憶にございません!」が公開予定。10月からは、フジテレビ系主演ドラマ「シャーロック」が放送予定。

On time



心地よいストレッチのおかげで
テイラードスタイルも快適志向に。

テイラード系のセットアップは、フィット感が高ければ高いほど洒落て見えるもの。ただその反面、快適さが犠牲になりがちに。ところがこの新作はそれとは別物。縦横に伸び縮みするジャージ素材なので動きやすく、袖捲りのアレンジも自在だ。

タートルネックニット2万1000円、スニーカー参考商品(以上CK カルバン・クライン/オンワード樫山 お客様相談室)、腕時計2万4000円(カルバン・クライン ウォッチ&ジュエリー/スウォッチ グループ ジャパン)、ソックスはスタイリスト私物



モデル着用はこれ!

color variation

Setup suit

【セットアップスーツ】

副資材をほとんど使わず、パターンメイキングだけで立体感を表現。伸縮性も高く、肘や膝が出にくいのは嬉しい。ジャケット各4万5000円、パンツ各2万3000円(以上CK カルバン・クライン/オンワード樫山 お客様相談室)

ディーン・フジオカさんを引き立てるのは
〈CK カルバン・クライン〉の洗練。
リラックスして着たい服にこそ
“きちんと見え”するデザインを。

きちんとした佇まいを保ちつつ、快適に過ごしたい。〈CK カルバン・クライン〉の新作には、そんな都市生活者の理想が叶う秀作が揃っている。今回その魅力を体験してくれたのが、俳優でミュージシャンでもあるディーン・フジオカさん。都会的にしてコンフォート感あふれる仕立てが、お洒落のスタンスにピッタリとハマったようだ。

写真=瀬尾浩司、正重智生 スタイルリング=カワダイ イン
ヘア&メイク=磯野亜加梨 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo: Hiroshi Seo, Tomoo Syuju(BOIL) styling: Ison Kawada (Impannatore inc)
hair&make-up: Akari Isono(studio MAM) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima



**MICRO
GLEN CHECK
M-65**

【マイクログレンチェック M-65】

彩りをシックにするだけで
ミリジャケ姿がモダンに。

かつてよく着たミリジャケといえは、オリーブ系の配色だった。そんな男らしさたっぷりな装いも悪くはないが、いい年の大人が街着にすると違和感が出る恐れも。ところが小柄のライトグレーならどうだろう。襟の立ち上がりやシルエットを現代的にリファインしたデザインのおかげで、スーツにも羽織れるアウターとしても活用できるはずだ。

デザインのベースは、アメリカ車のM-65フィールドジャケット。ボディは裏側にフリンネット加工を施した素材なので、その着心地はミリジャケとしては出色の軽やかさ。フード裏のフラスナーの中に畳んで収納できるバックル仕様。ブルゾン12万円、ニット2万9000円、パンツ2万3000円、ストール2万8000円、ハンチング1万5000円（以上ポール・スチュアート、SANYO SHOKAI カスタマーサポート）



丈夫で撥水性に富む素材は、イタリアの名門カニコ社との合作。柄使いはクラシカル志向



**GLEN CHECK
DUFFLE COAT**

【グレンチェック ダッフルコート】

学生っぽさを感じさせない
大人目線のダッフルコート。

ビジネスシーンのコートとはまた違う、力の抜けた雰囲気がある魅力的なダッフルコート。休日に羽織るにはうってつけだが、どこか学生っぽい印象も。その点、グレンチェック柄のメディアムグレーなら年相応の落ち着き感とモダンさを印象づけられる。しかも、リバーシブル素材を生かした1枚仕立てなので、ロープのような優雅な雰囲気で着こなせる。

服地は、日本有数の織物の産地である尾州で作ったオリジナルのリバーシブル素材。しっかりと厚みを持たせた温かみのあるふわりと軽い着心地。コート12万円、タートルセーター4万5000円、パンツ2万6000円、グローブ1万6000円（以上ポール・スチュアート / SANYO SHOKAI カスタマーサポート）、シューズ4万9000円（ポール・スチュアート / ポール・スチュアート 青山店）、その他はスタイリスト私物

PAUL STUART

大人を凛々しく見せる
〈ポール・スチュアート〉の新作。

**都会の休日服は
“グレー”からはじめよう。**

都会的でハイセンス、上品で洗練されたイメージのカラーといえばグレー。ほかにも程やかで落ち着いた信頼感を与えるという効果もあるので、好感度も高い。大人の安定感を保ちつつ、素材や織り方によって、イメージが大きく変わるのも着ていて楽しいところ。上質素材で快適さやリッチさを高めた〈ポール・スチュアート〉の新作で、是非お試しあれ。

写真＝野口貴司、正重智生 スタイルリング＝中川原 寛 ヘア&メイク＝松本 恵
文＝遠藤 匠 構成＝大嶋 慧子
photo: Takashi Noguehi, Tamoo Syoju(BOIL) styling: Kan Nakagawara(Ca.NN)
hair&make-up: Megumi Matsumoto(es*OUISSE) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima



HOUND'S TOOTH JACKET

〔ハウントゥースジャケット〕

カシミア混ジャージの力で
快適さと高級感の両得狙い。

ジャケットに大きめな柄を取り入れると休日感が増す。"スチュアーツ トラベラー"シリーズのこの1着は、まさに休日にはお誂え向き。普遍的なお洒落感を印象づけられるグレー系の千鳥格子柄で、快適なジャージ仕立てにカシミアをブレンド。手触りも風合いもすこぶるリッチだ。その優しくとびきり動きやすい着用感は、ヤミツキになりそう。

カシミア混紡ジャージ素材は、カラダを柔らかく包みこむような独特の着心地。ナチュラルストレッチが効いているので締めつけ感も一切なく、腕の上げ下げも楽だ。ジャケット自体は、軽やかさを重視した背抜き仕立て。ジャケット7万9000円、タートルニット2万3000円、パンツ3万3000円、ストール2万5000円、グローブ1万9000円(以上ポール・スチュアーツ / SANYO SHOKAI カスタマーサポート)

Information

(ポール・スチュアーツ)の公式通販サイトが9/19に待望のオープン。秋冬の新作はもちろん、今回紹介したアイテムも購入できるので、是非訪れてみては? www.paulstuart.jp



HERRINGBONE SETUP SUIT

〔ヘリンボーンセットアップスーツ〕

出張や旅でも重宝するスーツは
"スチュアーツ トラベラー"で。

このスーツは、ビジネスシーンや出張、旅先での快適性を追求した"スチュアーツ トラベラー"シリーズのもの。肩パッドを使わないジャージ仕立てで、立体的でありながら軽い着心地が特徴となっている。糸の仕上げの段階でしっかり縮絨をかけており、反発力があるので、シワもつきにくい。見栄えするのに、コンフォータブルなセットアップ。

チャコールグレーのボディは遠目だと無地に見えるが、近距離だとヘリンボーン柄でシックな印象に。イージーケアなので旅でも重宝し、パンツとセットアップもできる。ジャケット5万9000円、カットソー2万円、パンツ2万9000円(以上ポール・スチュアーツ / SANYO SHOKAI カスタマーサポート)、シューズ5万6000円(ポール・スチュアーツ / ポール・スチュアーツ 青山店)、その他はスタイリスト私物

Why don't you stay in TENT RESORT*

今、アジアではテントリゾートが密かなブーム!

自然へのインパクトを最小限にとどめた風貌で、ワクワクするような非日常が味わえるテントステイ。テントといってもキャンプではない。贅沢なしつらえはそこらへんのホテルよりも、遥かにゴージャスなのだ。

文=古関千恵子 text: Chieko Koseki



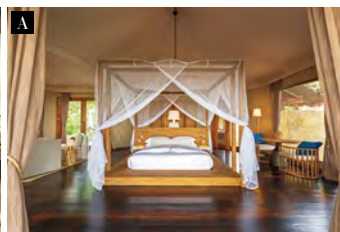
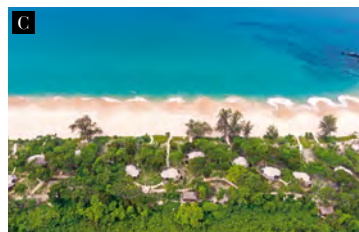
01 環境に優しく、ヘアフットラグジュアリーを体現。 WA ALE ISLAND RESORT [ワ・アレ・アイランド・リゾート] in Myanmar

ラウンジ前の広いデッキテラスからは遮るものないアンダマン海ビューが広がる。エアコンや電話、ミニバーはあえて置いてないが、Wi-Fiは客室内でも利用できる。

DATA

©96 Myananda Street, Kawthaung Township Taninthayi Region, Myanmar
☎+95-095018269
<https://waalersort.com/>

A:天蓋付きベッドはちょうどアンダマン海に対峙するように配置されている。シッティングエリアもベッドの脇に B:プライベートガーデンに面した、広いバスルーム。バススタブはないが、アウトドアシャワーが気持ちいい C:通年、海ガメが産卵に訪れるタートルビーチ前にテントが点在する



タ

イ国境に近い、ミエイク諸島のランピ島海洋国立公園内。手つかずの2つのビーチに2018年10月にオープンしたエコリゾート。開発時に木を一本も伐採することなく、もとの自然を生かしたレイアウト。建材はミャンマーの古い民家や学校などの廃材をリサイクルし、家具はオーナーのキングスレー夫妻がデザインを行った。客室は11棟のテントと3棟のツリーハウス。テントといえども広さ約139㎡。エアコンはあえて置かず、最新のシーリングファンが心地いい風を送る。食事はアジア&地中海料理。敷地内のオーガニックファームや地元の農家からの食材が、新鮮で美味だ。エコツーリズムによる利益は、環境保護や地域のために生かされる。

03 ベンスリーの夢が詰まったこだわりのテント。 BENSLEY COLLECTION SHINTA MANI WILD in Cambodia

[ベンスリー コレクション シンタマニ・ワイルド]

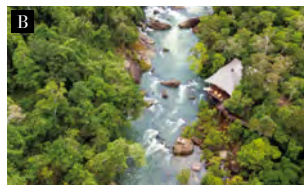
カルダモンの中、川沿いの350ヘクタールもの敷地にテントはわずか15棟。この土地の自然を守るため、テントというスタイルをチョイス。

DATA

©Prey Praseth Village Southern Cardamom National Park, Ou Bak Roteh 855, Cambodia
☎+855-12-223-782
<https://www.bensleycollection.com/shintamani-wild/>

カンボジアの南西部、カルダモン山脈に2018年12月オープン。建築家ビル・ベンスリーが土地を購入し、思いをたっぷりこめたプライベート・リゾート。密漁や森林の伐採などから保護するNPOと提携し、カルダモンを守る役割も

担っている。15棟のテントはそれぞれ40エーカーに1棟の割合で川沿いに点在。テーマがすべて異なり、なかには1967年にカンボジア国王に招かれたジャクリン・ケネディがココを訪れたら?なんて、空想から生まれた部屋もあるそう。家具はすべてオリジナル。



A:ジャクリン・ケネディのためのテント。ソファはこの森に暮らす絶滅危惧種のプリント柄 B:希望者はジップラインでのチェックインも。無事到着したら、冷たいタオルとウェルカムドリンクが

02 ウブドの森に築かれた初期入植者へのオマージュ。 CAPELLA UBUD [カペラ・ウブド] in Indonesia

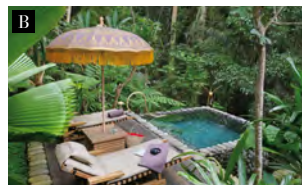
深谷の中腹や川のそばなど、テントは多彩なロケーション。昔ながらの伝統様式でも、ミニマルモダンでもない、バリ島におけるデザインの新機軸。

DATA

©Jl. Raya Dalem, Banjar Triwangsa Desa Keliki, Kecamatan Tegallalang Ubud, Gianyar Bali 80561, Indonesia
サ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド ☎0120-086-230
www.LHW.com/capellaubud

バリ島ウブドの森の中、ウォス川の渓谷に佇む。トロピカル建築の巨匠ビル・ベンスリーが手掛けるココは、1800年代に欧州から来た初期入植者への敬意がコンセプト。23棟の客室はすべて塩水プールが付いたテントスタイル。ひと昔

前のファブリックやハンマーで叩いてならしたバススタブなど、独特な世界を見せてくれる。スパイス貿易をモチーフにしたメインレストランやバーベキュー料理など食体験も個性的。夜はキャンプファイヤーを囲み、サイレント映画鑑賞や語り部の話に耳を傾けよう。



A:自然を肌で感じるオープンな造りのテント。室内はオーナーが集めた骨董やアートで飾られている B:塩水を満たしたプライベートプール。プールサイドのデイベッドに寝ころび、ウブドの森を満喫!

AREA

〈エリア〉の『Safari』別注ソファは

ラグーナビーチをイメージしたスペシャルデザイン。

アメリカ西海岸屈指のビーチリゾートがラグーナビーチ。そこには潇洒な家が立ち並び、海を感じて過ごす夢のライフスタイルがある。今回ご紹介するソファは、そんなラグーナビーチの空気感をデザインに取り入れたもの。リッチで余裕あふれるビーチライフに憧れる大人にとって、これほど寛げるソファはないのでは？



熟練職人が手掛けるソファは〈エリア〉の定番モデル「ガーデン」がベース。使われている素材は、世界中から厳選された上質なもの、それぞれに贅沢な風合いが楽しめる



LAGUNA

〔ラグーナ〕

写真の組み合わせ: Bold arm one unit, 1unit×2, Ottoman ソファサイズ:横2860mm×奥行910mm/1780mm×高さ770mm×座面の高さ400mm 税込み価格100万1160円〜(エリア/エリア トーキョー)※ソファの組み合わせ、張り地の組み合わせにより価格が異なります。また、商品は雑誌『Safari』の公式オンラインショッピングサイト『Safari Lounge』からもお求めいただけます。
URL: <https://safari lounge.jp>



ソファはリビングの主役。家族が集い寛ぐ場所でもあるから、やはり上質でたっぷりとしたサイズが理想。もちろんそこには、こだわりのある大人を満足させるデザイン性の高さも必要となるだろう。そして、もしあなたがアメリカ西海岸の自由でリッチなライフスタイルに憧れているのなら、このソファはまさにお誂え向きといえるかもしれない。そう、こちらは雑誌『Safari』編集長が、日本のラグジュアリーインテ

リアブランド〈エリア〉に別注したもの。上品でクリーンなベージュをベースに、クッションには波を想起させる柄など、異なる生地をセレクト。LAのラグーナビーチをイメージしただけあって、ナチュラルな中にも表情豊かな仕様となっている。もちろん余裕たっぷりのサイズ感も、アメリカンモダンリビングにはぴったり。たとえば、サーフィン後にこの広々としたソファにゴロリ。空調のよく効いたリビングでほどよく冷えたビールを1杯飲

むなんてシーンも、実に絵になりそう。また、ソファの本体は組み合わせ自由なユニット型で、アームのデザインも選択可能。クッションカラーも4種類から選べるので、自分好みにカスタマイズできるのも嬉しい。

ちなみに2022年に東京・晴海に完成予定の分譲マンション〈ハルミ フラッグ〉では、このソファを含めた『Safari』の世界観をテーマにした部屋が登場。こちらも是非ご覧いただきたい。

Bell & Ross

別格の存在感を持つ〈ベル&ロス〉があれば

大人の風格はもちろん センスのよさも語れる。

日々の課題に立ち向かうビジネスマンにとっての時計は、視認性はもちろん、堅牢で快適という要素も重要。さらに風格が加われば完璧。航空計器をそのまま腕時計化するという発想により、機能重視のアビエーションウォッチの世界にデザイン性を取り入れたこの“BR シリーズ”。新たに加わった“BR 05”は、タフで機能的な世界を残しつつも洗練され、手元がぐっと華やぐ。

写真=野口貴司、正重智生 スタイルング=中川原 寛 ヘア&メイク=星 隆士 文=篠田哲生 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi, Tomoo Syoju(BOLL) styling: Kan Nakagawara(CaNN)
hair&make-up: Takashi Hoshi(Siguo) text: Tetsuo Shinoda composition: Keiko Oshima

完璧にフラットな表面と40mmというサイズのおかげで、スーツの手元に美しく収まる。腕時計55万円(ベル&ロス/ベル&ロス ジャパン)、チェックのコート35万円、スーツ12万円、シャツ2万3000円、ネクタイ1万5000円(以上ポール・スチュアート/ポール・スチュアート 青山店)、その他はスタイリスト私物



様々な要素がクロスオーバーする
“強靱な宝石”のような1本。

機能最優先のアビエーションウォッチを、ラグジュアリーに進化させた“BR05”。定番のスクエアケースに丸い文字盤を配し、ブランドのDNAを感じさせるデザインに。また、ケースとブレスレットが繋がっているような一体感のあるフォルムも特徴で、時計をスマートに見せるとともに、あらゆる腕に心地よくフィットする。

“BR05 ブラック スティール”。ケースサイズ40mm、自動巻き、SSケース & ブレス、100m防水。55万円(ベル&ロス/ベル&ロス ジャパン)

モデル着用



BR05

[BR05]

パリで生まれた時計ブランド(ベル&ロス)は、“時計の常識”に縛られない、力強くも洒落たデザインが得意。新作もカラーや素材の異なるバリエーションを、華やかにラインナップする。すべてケースサイズ40mm、自動巻き、100m防水。右：SSケース & ブレス。55万円 中：SSケース & ブレス。55万円 左：18KRGケース & ブレス。370万円(以上ベル&ロス/ベル&ロス ジャパン)

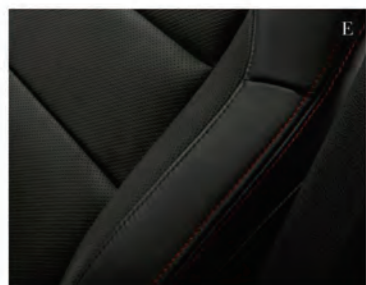


ラバーベルトも!

タフなスペックをもっとスポーティに楽しみたいなら、ラバーストラップタイプがおすすめ。"BR05 ブラック スティール"49万円(ベル&ロス/ベル&ロス ジャパン)



A: 力強さと上質感のあるリアデザイン。この特別限定車は、急勾配を走る際、一定の低速で上り下りできるようにアクセル&ブレーキ操作をアシストする機能も搭載 B: ステアリングにはトレイルホーク専用バジを装着 C: 足まわりを引き立てるアルミホイールは、専用デザインの18インチ仕様。タイヤはディーラー装着オプション



D: 黒レザーシートが映えるクラス感のあるインテリアとコックピット。衝突被害軽減ブレーキ付きで、前面衝突警報や車線逸脱警報をはじめ、新進の安全装備と運転支援装備も充実している E: 黒を基調にレッドステッチを効かせたレザーシートにも、プレミアム感を感じさせる F: 〈ジープ〉の中でも特に優れた4×4性能を持つモデルに与えられたバッジ。最も険しいオフロード性能試験に合格した証でもある

Information

本格的なオフロード走行をこなし、快適なシティクルーズも楽しめる限定車として、〈ジープ〉コンパス・トレイルホークが発売。オフロード性能を強化する装備として、路面状況に合わせて4つの走行モードを選択できる新開発の4×4システムを採用。衝突被害軽減ブレーキ付きの前面衝突警報や車線逸脱警報など、上級グレードに匹敵する新進の安全装備も搭載する。車両税込価格413万6400円

GRAND CHEROKEE

- 全長×全幅×全高:4835×1935×1805mm
- エンジン:V型6気筒 DOHC
- 排気量:3604cc 最高出力:213ps/6400rpm
- 最大トルク:347N・m/4000rpm
- 駆動方式:常時4輪駆動(電子制御式8速AT)
- 車両本体税込み価格:630万円



ブルゾン3万8000円(エストネーション)、ニット3万5000円(フォントネル/エストネーション)、パンツ2万8000円(ジャズアルキヴィオ/エストネーション)、ブーツ2万3000円(クラークス オルジナルズ/クラークスジャパン)

GRAND CHEROKEE

〈ジープ〉グランドチェロキーの特別限定車は

本格オフローダーにして
都会派SUVの資質あり。

“キング・オブ・オフローダー”として、SUV全盛の現代も絶大な存在感を放つ〈ジープ〉。その中でも人気の高いグランドチェロキーの特別限定車“トレイルホーク”は、街乗りとしてもプレミアムなクルージングを楽しめる1台として注目を集めている。そのステアリングを握ると、果たしてどんな高揚感を味わえるのだろうか。

写真=田中丸善治 スタイリング=Kim-Chang ヘア&メイク=松本 恵 文=遠藤 匠 構成=大崎 慧子
photo: Zenharu Tanakamaru styling: Kim-Chang hair&make-up: Megumi Matsumoto(es*QUISSE) text: Takumi Endo
composition: Keiko Oshima

特別感が味わえる都会派オフローダー。

〈ジープ〉ブランドにおける、フラッグシップモデルに位置づけられるグランドチェロキー。その特別限定車として登場したのが、今回紹介するトレイルホーク。わずか100台限定のスペシャルモデルだけあって、その性能はオフローダーと街乗りの両面で、プレミアムな仕上がりとなっている。〈ジープ〉では特に悪路走破性に優れたモデルにのみ、“トレイルレイテッド”という認証が与えられるのだが、これもまさにそのひとつ。その優れた走破性能をさらに高

めているのが、電子制御LSDを搭載の“クオドラドライブ II 4×4システム”。路面状況に応じて前後のトルク配分を調整し、滑りやすい場所でも抜群のトラクション性能を発揮する。その一方で、障害物センサーやアイドリングストップといった機能のおかげで、街中での使用感も快適このうえない。ラゲージスペースも大容量なので、2つのゴルフバッグも余裕で積載可能。パートナーとの週末ショッピングでも、申し分のない活躍をしてくれそうだ。



台北に美食レストランブームが到来!

そもそも台北はグルメな土地として知れてはいたが、外食はローカルフードや屋台が中心で、いわゆるガストロノミー(美食)レストランは、ほぼ皆無だった。それが、ここ近年は世界の美食ブームの波を受けて、台北独自のイノベティブなレストランが続々と誕生している。今回は、中でも注目の店をご紹介します、その魅力をお伝えする。

取材・文=中村孝則 text:Takanori Nakamura

台 北で美食レストランのブームがはじまったのは、今から約5年ほど前だろうか。台北に2014年にオープンした(RAW(ロウ))は、世界的なシェフ、アンドレ・チャンがプロデュースしたこともあり、瞬く間に予約困難店となった。また、この年、同じ年に(日本料理 龍吟)の支店、(祥雲龍吟)も誕生し、台湾は美食のフロンティアとして、世界中のフーディたちから注目されることになった。その台湾では若手シェフを中心に、美食の第2ウェーブともいえる出店ラッシュが続いている。その筆頭は、今年の「アジアのベストレストラン50」(以下アジアズ50)で、7位になった台北の(MUME(ムメ))だろう。オーナーシェフのリッチー・リンは、台湾の食材にヨーロッパ仕込みの料理手法を加えた絵画的ともいえる料理で、フーディたちを唸らせている。同じく昨年末に台北にオープンしたばかりの(logy(ロジー))も特筆に値する料理を提供する。この店は、東京・青山のレストラン(フロリレージュ)の姉妹店だが、シェフの田原諒悟は、その(フロリレージュ)の川手寛康のもとでスーシェフを務め、この店の料理長に抜擢されると、開店わずか5カ月でミシュランの星を獲得。すでに予約困難店となりつつある。10皿あまりのコース料理のほとんどは、台湾の素材を使い、台湾でしか味わえない美味しさ、楽しさを追求する。ちなみに、台北だけでなく台中にも注目のレストランがある。今年アジアズ50で注目のレストラン賞に選ばれた、台中の(JL Studio(ジェール スタジオ))である。この店は、シンガポールで育ったシェフ、ジミー・リムによるモダン・アジア料理店。東南アジア諸国の伝統料理を台湾の素材に融合して、茶目っ気に富んだ料理を作り出す。それでいて、味わいは本格派。台中にいなながらアジア中を旅するような気分させてくれる。親日でも知られる台湾。その知られざる美食のトレンドもご自身で味わってほしい。



取材・文 中村孝則 美食評論家

1964年神奈川県山生まれ。ファッションからカルチャー、美食などをテーマに新聞や雑誌、テレビで活動中。主な著書に『名店レシピの巡礼修業』(世界文化社)がある。2013年より「世界ベストレストラン50」の日本評議委員長も務める。さらに、グラナパダーノとバルマハムの親善大使に任命されている。



MUME

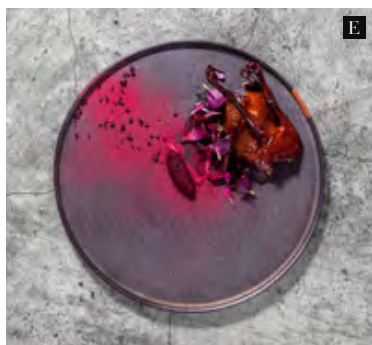
[ムメ]

地元食材で作る絵画のような料理は台湾美食革命の先駆的存在。

大安エリアにある(ムメ)。料理は「ほぼ台湾の素材にこだわっている」とシェフのリッチーは言う。たとえば、こちらは台湾産のトマトと台湾産小さなグリーンピースに、台湾で獲れた海老にトマトの出汁で仕上げたひと品。表面には、これも台湾で咲いているエディブル・フラワーを添えて、絵画的な表現に仕上げている。

DATA

Ⓧ No. 28, Siwei Road, Da'an District, Taipei City, 台湾 106
☎ +886 2 2700 0901
https://www.mume.tw



A: 台湾の大地の恵みを感じて感じるシグネチャーディッシュ B: シェフのリッチー・リンは香港出身。欧州の名店でも研鑽を積んだ C: (ムメ)の店内にはご覧のようなバーカウンターがある。カクテルも秀逸だ D: アミューズのタルトのプレゼンも洒落ている E: 鳩を台湾茶で燻して仕上げた逸品。低温調理されたビートルーツ、熟成されたプラムのピューレが添えられ、最後にエディブル・フラワーで飾られる

JL Studio

[ジェール スタジオ]

アジアのグルメたちが注目する台中の新店。

シンガポール育ちのジミーは、シンガポールの伝統料理をモダンにアレンジする。右の料理は牛肉を使ったスペンチャリテ。添えられた緑色の素材は、東南アジアで広く料理に使われるサトウ豆。シェフのジミーが子供の頃食べたサトウ豆の懐かしい味わいを表現したという。



A: サトウ豆は独特の苦味が特徴で、肉との相性がいい B: こちらはババイアの握り寿司。ババイアをシャリに見立て、ネタには生ウニが添えられる。意外な組み合わせだが、驚くほど旨い C: 子供の頃味わった味をモダンにアレンジするジミー

DATA

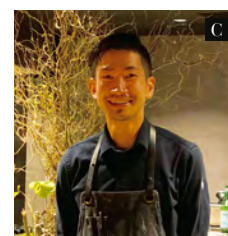
Ⓧ No.689, Yifeng Road, Setion 4, Nantun District, Taichung City, 台湾 408
☎ +886 4 2380 3570
https://www.facebook.com/jlstudiotaiwan/

logy

[ロジー]

気鋭の日本人シェフが台湾で勝負を挑む店。

日本で磨いたフランス料理の技法とエスプリで、台湾の素材や気候風土を生かした料理を作る。開店わずか5カ月で、ミシュラン台湾版の星を獲得した。ちなみに右の料理はホタテ貝に、台湾の素材の様々なフレーバーを組み合わせて、耽美的な味わいを構築。(ロジー)のスペンチャリテのひとつだが、新鮮な海鮮の魅力を知り尽くした北海道出身の田原シェフらしい料理である。



A: あえてホタテの貝殻も蓋として使い、グラブイカルに演出 B: 料理の数々は味わったことのないフレーバーに出会えるはず C: シェフの田原諒悟は東京・神宮前の名店(フロリレージュ)の川手寛康の元スーシェフだった

DATA

Ⓧ No.6, Lane 109, Section 1, Anhe Road, Da'an District, Taipei City, 台湾 106
Mail: hello@logy.tw https://logy.tw

Seek Extraordinary Journeys!

TRAIL RATED*

その気になれば、あなたもタフなオフローダー。

いざとなったら頼りになる。男もクルマもそうでありたいものだが、ことクルマに関してはこれなら安心というモデルがある。〈ジープ〉の中で、特別なバッジがついているグレードだ。

文=九島事務所 text: Kushima Office



ラングラーは全車「トレイルレイテッド」の基準をクリアし、なかでもアンリミテッドルビコンの走破性は別格



「トレイルレイテッド」認定車は、ご覧のバッジが誇らしげにあらわれる。これがあれば一目置かれる存在に

ひ

と口に〈ジープ〉といっても、モデルはいろいろある。ラングラーのようなオーセンティックなものからタウンユースを得意とするレネゲードまで、あらゆるニーズに当てている。だが、そこはやっぱり〈ジープ〉。オフロードに特化したグレードもしっかり用意している。それを示すのが、写真左下の「トレイルレイテッド」と称したバッジ。これをボディに装着したモデルは、特にオフロードに長けている。

具体的には「トレイルホーク」というグレードがそう。レネゲード、コンパス、チェロキー、グランドチェロキーにラインナップする。ただ、ラングラーは別物。全グレードに「トレイルレイテッド」が貼られていることからわかるように、特別なトレイルホークは設定しない。

それじゃ「トレイルレイテッド」の中身はナニ?となるが、これは〈ジープ〉が自ら作り出したオフロード走行の指針で、それを数値化しクリアしたものに与えられる。項目は5つで、渡河(とか)性能や接地性、地上高云々だ。どれほどの深さまで水に入れるかという渡河性能は、ラングラーは24インチ、チェロキーは20インチ、レネゲードは19インチというように決められている。そして接地性は前後のオーバーハングやホイールベースの長さから生まれるアプローチアングルなどの深さ(角度)だ。

ということで、他人とは違うSUVを相棒にしたい人はそんな観点からクルマを選んでみてはどうだろう。〈ジープ〉というブランドだけでもワクワクするが、「トレイルレイテッド」のバッジがタフな男心にさらに火をつける。これを機に、ワイルドな相棒と一緒にワイルドなカーライフを体験してみたいはかが?

「トレイルレイテッド」が設定されたクルマはコチラ!



Jeep Wrangler Unlimited Rubicon

[ジープ ラングラー アンリミテッド ルビコン]

すべてのグレードは基準をクリア。

ラングラーは全モデルに「トレイルレイテッド」のバッジが装着される。開発陣の設定したオフロード走行基準をみなクリアしているからだ。そしてそのトップに君臨する究極の市販オフローダーがこのルビコン。見かけ以上の実力の持ち主である。ルビコンは〈ジープ〉の開発にも関与するトレイルの名前だ。税込み価格588万6000円



Jeep Grand Cherokee Trailhawk

[ジープ グランドチェロキー トレイルホーク]

100台用意された贅沢な限定車。

このクルマは今年4月に100台のみ発売された限定車。リアアクスルに電子制御式LSDを搭載したクォッドドライブII 4x4システムを搭載したのが特徴。だが、最大のメリットはエアサスペンション。車高を上げられることで各アングルを深くすることができる。ロゴ刺繍入りレザーシートで高級感もバッチリ。税込み価格630万円



Jeep Cherokee Trailhawk

[ジープ チェロキー トレイルホーク]

さらに一步上行くROCKの設定がカギ。

チェロキーはロンギチュード、リミテッドにもセレクトレインシステムが搭載される。ダイヤルひとつでトラクションコントロールなど12種類のマネジメントシステムが稼働する装備だ。そして、トレイルホークにはROCKが追加。オフロードにおいて濡れた岩場は最大の難所だけに、それを追加した意味合いは大きい。税込み価格484万円



Jeep Renegade Trailhawk

[ジープ レネゲード トレイルホーク]

ダイヤルひとつでキャラが変わります。

レネゲードの中で唯一の4WDモデルがコチラ。セレクトレインシステムを搭載し、SNOWやSAND、MUD、ROCKといった路面状況をダイヤルひとつで設定し、安全に走行することができる。さらに4WDローレンジ、4WDロック機構も搭載。電子デバイスと合わせ、かなりの状況下でも安定した走行ができそう。税込み価格380万円

☎ジープフリーコール ☎0120-712-812

※掲載商品問い合わせ先/●P27:ダンヒル ☎03-4335-1755 ●P38:SANYO SHOKAI カスタマーサポート(ボール・スチュアート) ☎0120-340-460 ●P41:エストネーション ☎0120-503-971、クラークスジャパン ☎03-5411-3055